

中学校 第二学年 国語調査票

組		出席番号		氏名	
---	--	------	--	----	--

注 意

- 一 放送による合図があるまで、中を開かないでください。
- 二 調査票は、1ページから13ページまであります。
- 三 先生の指示があったら、最初に、組、出席番号、氏名を書いてください。
- 四 答えは、解答用紙にはっきりと書いてください。

一 放送を聞いて答える問題

メモ欄 らん

--

音声問題台本（中学校 第二学年 国語）

これから、放送を聞いて答える問題を行います。放送は一回だけです。内容に注意して、メモを取りながら聞いてください。

放送の内容は、総合的な学習の時間に、地域の方に行ったインタビューの一部です。あなたは、インタビューに参加しているつもりで聞いてください。では、始めます。

山田 こんにちは。青空中学校の山田です。今、私たちは、総合的な学習の時間に、「自分たちができる地域の活性化」について考えています。それぞれのグループでいろいろなテーマを取り上げていますが、私たちのグループでは、地域の夏祭りで行われている伝統芸能の「ふるさと太鼓」が、地域の活性化につながるかなと考え、テーマとして取り上げました。そこで、まずは、「ふるさと太鼓」のことをいろいろと調べてみようと思います。「ふるさと太鼓」を指導されている森川さんに、お話を伺いにきました。まず、どんな思いで、夏祭りの「ふるさと太鼓」を指導されているのか、聞かせてください。

森川 はい。私もあなたたちが言うてくれたように、「ふるさと太鼓」が、地域の活性化につながればと思って指導しています。地域の活性化に向けた「ふるさと太鼓」の意義は二つあると思っています。まず一つ目は、地域にほこりをもつ気持ちが高まることです。「ふるさと太鼓」は、この地域だけに伝わる独特のリズムが全国的に評価されています。代々、中学生が演奏をしています。演奏することで「ふるさと太鼓」が好きになり、それが地域に対するほこりにつながると思っています。ほこりをもてば、きっと地域の伝統を受け継いでくれると思います。二つ目は、地域の大人と子どもとのつながりが深まることです。夏祭りでの演奏に向けて、一か月前から地域の大人が指導にあたります。決して多くはない練習回数ですが、練習を通して地域の大人と子どもとのつながりが深まることにつながると思っています。「ふるさと太鼓」を通して、子どもたちが地域にほこりをもつ、地域の大人と子どもとのつながりが深まる、「ふるさと太鼓」がそんな役目を果たし、地域が活性化してくれればうれしいですね。

山田 ありがとうございます。森川さんの「ふるさと太鼓」に対する思いがよく分かりました。「ふるさと太鼓」がそんな役目を果たすことができれば本当にうれしいですね。ただ、最近では、私たち中学生の参加は少なくなっていると思うのですが、このことについて森川さんはどう感じておられますか。

森川 はい。私もそれをとて残念に思っています。このままでは、「ふるさと太鼓」はいつか終わってしまう、そんな危機感をもっています。なんとか中学生の参加を増やしたいと思っています。なぜ参加してくれないのか分かりませんが、参加してもらおうためのアイデアがなかなか浮かびません。「ふるさと太鼓」を盛り上げるためにできることがあれば、何でもやりたいと思っています。

これで放送は終わりです。

この放送で聞き取ったことをもとにして、調査票の問いに答えてください。それでは、調査票を開いて始めてください。

(答えは、全て解答用紙に記入しなさい。)

一 今の放送で聞き取ったことをもとに、次の1・2の問いに答えなさい。

1 森川さんは、地域の活性化に向けた「ふるさと太鼓」の意義を二つ挙げています。

一つは、「地域にはほこりをもつ気持ちが高まること」でしたが、もう一つはどのようなことでしたか。書きなさい。

2 森川さんへのインタビューを受けて、山田さんたちは、アンケート調査を行うことにしました。森川さんのインタビュー内容をもとに考えると、だれを対象に、どのようなアンケート調査を行うのがよいでしょうか。次のア～エの中から最も適切なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 地域の大人に「ふるさと太鼓」の指導希望の有無とその理由を聞くアンケート

イ 地域の大人に「地域の活性化」の方法とその理由を聞くアンケート

ウ 中学生に「ふるさと太鼓」への参加希望の有無とその理由を聞くアンケート

エ 中学生に「地域の活性化」の方法とその理由を聞くアンケート

二 次の1・2の問いに答えなさい。

1 次の文章の（ ）に使われる故事成語は、どれが最も適切ですか。次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

私は、ある有名な作家の実際の原こうを読む機会にめぐまれた。その原こうには、書いては直し、書いては直しした跡あとが、いくつも見られた。私は、有名な作家といえども、何度も何度も（ ）するものなのだと感じた。

- ア 矛盾 むじゆん イ 五十歩百歩 ウ 推敲 すいこう エ 蛇足 だそく

2 次の文章を読んで、(1)～(3)の問いに答えなさい。

草からはしずくがきらきら落ち、すべての葉も茎も花も、今年の終わりの陽の光を吸って1 ぬます。

2 はるかな西の碧い野原は、今泣きやんだようにまぶしく笑い、向こうの栗の木は、青い後光を放ちました。

3 みんなはもう疲れて一郎をさきに野原をおりました。湧水わきみずのところではやっぱりだまってきつと口を結んだままみんなに別れて、じぶんだけお父さんの小屋の方へ帰って行きました。

帰りながら嘉助かすけが言いました。

「あいづやっぱり風の神だぞ。風の神の子っ子だぞ。あそごさ二人して巢食わしってるんだぞ。」

「そでないよ。」一郎が高く言いました。

(宮沢賢治 「風の又三郎」 による。)

(1) 1 ぬます を現代かなづかいに直して書きなさい。

(2) 2 はるかな西の碧い野原は、今泣きやんだようにまぶしく笑い、に使われている表現の技法はどれですか。次のア～ウの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア 反復 イ 倒置 とうち ウ 擬人法 ぎじんぽう

(3) ³ みんなはもう疲れて一郎をさきに野原をおりました。の「おりました」に対する主語はどれですか。次のア～オの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア みんなは イ もう疲れて ウ 一郎を エ さきに オ 野原を おりました。

(注) さきに || 先頭に

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

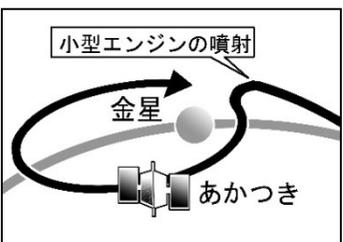
ア明け方や夕方だけに、ひとときわ輝く星があります。それは金星です。金星は、地球から見て、太陽、月の次に明るく輝く天体です。今、その金星の周りを日本の①探査機が回っていることを、みなさんは知っているでしょうか。その探査機の名称は、「あかつき」です。平成二十七年十二月九日、「あかつき」は、金星を回る軌道に入ることに成功し、惑星探査を実現させ、日本国内のみならず、世界中からも大きな注目を集めました。探査機が惑星を回る軌道に入るとは、決して世界で初めてのことでありません。それなのに、なぜ「あかつき」が金星を回る軌道に入ったことが、日本国内はもとより、世界中から大きな注目を集めたのでしょうか。

イこれまで、日本では、「さきがけ」「かぐや」「はやぶさ」といった探査機が、彗星や月、小惑星などの探査に成功してきました。しかし、惑星の探査に関しては、平成十年に、火星へ向けて「のぞみ」が打ち上げられましたが、火星への接近は果たしたものの、トラブルが重なって、軌道に入ることはできなかったのです。そのため、日本が惑星の研究をする際に、必要なデータは海外のものを利用せざるを得ない状況が続きました。日本にとって独自の惑星探査を実現させることは、惑星探査の分野で世界と（A）ことになり、悲願ともいえました。

ウしかし、「あかつき」に関わる人々は、あきらめませんでした。時間をかけて、何度も「あかつき」を軌道に入れるための方法と計算を繰り返し返しました。そして、「あかつき」が金星に近づくタイミングに合わせて、四つの小型エンジンを進行方向とは逆の方向に二十分間噴射して速度を落とし、金星の重力を利用して軌道に入るという計画を立てました。

エ平成二十七年、二度目の挑戦が行われました。最初の失敗から五年の間に、「あかつき」は何度も太陽に接近したため、その熱によって機体は傷んでいったうえ、主エンジンは壊れたままでした。また、燃料が不足しており、練習もやり直しもできない崖っぷちの状況でした。しかし、そのような状況の下、「あかつき」は、奇跡ともいえる成功を収めたのです。いくつもの困難を乗り越え、日本初の惑星探査を実現させたからこそ、「あかつき」は、日本国内のみならず世界中から大きな注目を集めることになったのでした。

それにしても、惑星探査などの宇宙開発には、膨大な時間と労力、そして資金がかかります。例えば、アメリカのスペースシャトルは、宇宙と地球の間を何度も往復することのできる非常に優れた宇宙船として有名でしたが、そのスペースシャトルでさえ、資金の関係上、現在は運用されなくなりましした。そのような中、どうして日本は、「あかつき」を打ち上げる必要があったのでしょうか。



オそれは、「あかつき」の金星探査が、地球を救うことにつながる可能性を②ヒめて
いるからです。金星は地球に最も近づく惑星で、大きさや重さ、内部もほぼ地球と同
じです。しかし、金星は、大気中に二酸化炭素を多く含み、気温も地球よりもはるか
に高くなっています。また、すさまじい速さで吹く風などもあり、地球の環境とは大
きく③ゴトになります。なぜ金星がそのような星になったのか、④原因は分かってい
ません。もし「あかつき」による観測データから原因が分かれば、地球が穏やかな生
命あふれる星となった原因や気候変動について、手がかりを得られるかもしれないの
です。そうになると、地球温暖化を解くヒントを得られるかもしれません。つまり、金
星を調べることは、金星そのものの謎を解き明かすだけでなく、私たちの住む地球の
謎を解き明かし、未来の地球を守ることもつながるのです。

カ明け方や夕方の空に輝く金星は、昔から、「明けの明星」、「宵の明星」と親しまれ
てきました。身近でありながら、はるかに遠いこの惑星の周りを、今「あかつき」は、
私たちの期待を背負って回っているのです。

(注) 惑星Ⅱ太陽を回る天体のうち、丸い形をしていて、周りに比べて大きく成長し
たもの。

小惑星Ⅱ火星と木星の間にある岩石質の小さな天体。

彗星Ⅱ氷と細かなちりでできている天体。

軌道Ⅱ一定の法則で運動する物体が描く道筋。

1 ①・④の漢字の読みを書きなさい。また、②・③のカタカナに当たる漢字を書き
なさい。

2 文章中の(A)には、慣用句が入ります。(A)に当てはまる最も適切な
慣用句を次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

ア 目を見張る イ 肩を並べる ウ 胸を打つ エ 足を向ける

3 次の [] の文章は、[ア] [カ] のいずれかの段落の後ろに入ります。どの段落
の後ろに入りますか。文章のつながりを考え、文章中の [ア] [カ] の中から最も適切な
もの一つを選び、その記号を書きなさい。

平成二十二年五月、日本の悲願を乗せて、金星探査機「あかつき」は打ち上げら
れました。その結果、「あかつき」もまた、金星への接近は果たしたものの、主エン
ジンの故障により、金星を回る軌道に入ることができませんでした。日本の悲願は
またしてもかなわなかったかに思われました。

4 文章中の の段落は、文章の中でどのような役割をもっていますか。次のア～エの中から最も適切なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア それまでの内容を否定し、新たな立場から提案をしている。
- イ それまでの内容に新たな内容を加えて、言葉の整理をしている。
- ウ それまでの内容を否定し、例をあげて、言葉の説明をしている。
- エ それまでの内容に新たな内容を加えて、疑問を投げかけている。

5 次の は、文章をもとに、「あかつき」についてまとめたものです。(a) (b) に入る言葉の組み合わせとして最も適切なものを次のア～エの中から一つ選び、その記号を書きなさい。

「あかつき」は、(a)、日本初の惑星探査を実現させたことで世界中から大きな注目を集めた探査機である。今後、「あかつき」には、金星を調べることだけでなく、地球の謎を解き明かすことが期待されている。それは (b) につながっているのである。

- ア a 練習ややり直しをくり返し b 未来の地球を守ること
- イ a 練習ややり直しをくり返し b 金星の謎を解き明かすこと
- ウ a いろいろな問題を克服しながら b 未来の地球を守ること
- エ a いろいろな問題を克服しながら b 金星の謎を解き明かすこと

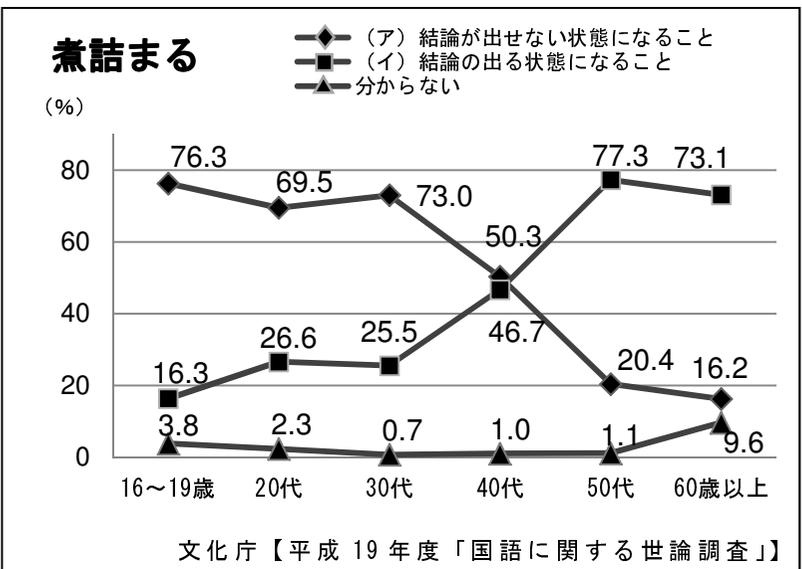
四 山本さんの学級では、「気になる日本語」をテーマに、身近な言葉の中から疑問に感じたことや興味をもったことについて調べる学習をしています。山本さんは、「煮詰まる」という言葉を取り上げて、報告書を書くことにしました。

次は、山本さんが集めた二つの資料【資料1】、【資料2】と、それらから分かったことや考えたことを書いた【付せん】です。これらを読んで、あとの問いに答えなさい。

【資料1】

家の国語辞典 に―つま・る【煮詰る】	学校図書館の国語辞典 に―つま・る【煮詰る】
①煮えて水分がなくなる。 ②転じて、議論や考えなどが出つくして結論を出す段階になる。「交渉が―る」	①煮えて水分がなくなる。 ②議論や考えなどが出つくして結論を出す段階になる。「ようやく交渉が―ってきた」 ③転じて、議論や考えなどがこれ以上発展せず、行きづまる。「頭が―ってアイディアが浮かばない」
平成十年 岩波書店 「広辞苑 第五版」	平成二十年 岩波書店 「広辞苑 第六版」

【資料2】



【付せん】

A 平成二十年出版の辞典には、「議論が行きづまる」という意味がのっているが、平成十年出版の辞典にはのっていない。

B 「煮詰まる」の意味に対するとらえ方は、四十代を境に逆転する。

C 「結論の出る状態になること」という意味だと思っている人の割合は、十六歳から十九歳までが最も低く、最も高い五十代と比べると約六十パーセントの差がある。

D 「結論が出せない状態になること」という意味だと思っている人の割合は、
() a ()
と約六十パーセントの差がある。

1 【付せん】のDの() a ()には、【資料2】のグラフから読み取った「煮詰まる」を「結論が出せない状態になること」と思っている人の、年れい別の割合の状況が入ります。() a ()に当てはまる言葉を、【付せん】のCの書き方を参考に書いて書きなさい。

ア 結果の予想
イ 考察
ウ 調査の方法
エ テーマ

2 山本さんの【構成メモ】の組み立てとして、
①
②
しいものを、次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を書きなさい。

「煮詰まる」について

2年1組38番 山本 洋子

- 1 目的**
 - ・「煮詰まる」の意味をどのようにとらえているかについて、年代ごとの変化を明らかにする。
- 2 取り上げた理由**
 - ・テレビで「長い間話し合って、ようやく計画は煮詰まってきた。」という表現を使っている場面を見たこと。
 - ・言葉の使われ方に疑問を感じたこと。
- 3 ①**
 - (1) 「煮詰まる」の意味を学校図書館や家にある国語辞典で調べた。
 - (2) 「煮詰まる」の使われ方に関する情報を、インターネットで調べた。
- 4 調査の結果**
 - (1) 国語辞典
 - ・二つの辞典から、「煮えて水分がなくなる」ことや「議論や考えなどが出つくして結論を出す段階になる」という意味があること。
 - ・平成20年出版の辞典からは、「議論や考えがこれ以上発展せず行きづまる。」の意味が加わっていること。
 - (2) 「国語に関する世論調査」
 - ・「平成19年度『国語に関する世論調査』」のグラフから分かること。
- 5 ②**
 - ・言葉の意味のとらえ方は、世代によって正反対になることがあると考える。
- 6 まとめ**
 - ・言葉の意味のとらえ方 → 時代とともに変わっていく。
- 7 参考資料**
 - 文化庁「平成19年度『国語に関する世論調査』」などを書く。

【構成メモ】

次は、山本さんが【資料1】、【資料2】、【付せん】をもとにして書いた報告書の【構成メモ】です。あとの問いに答えなさい。

山本さんは、【構成メモ】の6 まとめをもとに、「 」の文を書きました。あと
の問いに答えなさい。

言葉の意味のとらえ方は、時代とともに変わっていくので、相手がどのような意
味で言葉を使っているかを考えながら、コミュニケーションを図っていききたい。

3 山本さんは、 の言葉の意味のとらえ方は、時代とともに変わってい
くので、相手がどのような意味で言葉を使っているかを考えながら、コミュニケ
ーションを図っていききたい。には、二つの内容がふくまれていることに気が付き、
書き直すことにしました。次の条件1と条件2にしたがって書きかえなさい。

条件1 意味は変えずに二つの文にすること。

条件2 二文めには「 」に対する主語を補うこと。

五 高木さんと田中さんの学校の図書委員会は、毎月、詩人を紹介する図書通信「読書ニュース」を発行しています。そして来月は高木さんと田中さんが、図書通信を書くことになっています。

高木さんと田中さんは、先月発行された【読書ニュース まど・みちお】を読んでも、まど・みちおに興味をもち、他に見付けたまど・みちおの詩と合わせて、詩にこめられた共通のメッセージについて話し合いました。次は、まど・みちおを取り上げた【読書ニュース まど・みちお】、【見付けた詩】、【詩についての話し合いの一部】です。

【読書ニュース まど・みちお】

読書ニュース

まど・みちお

図書委員会

まど・みちお

【詩の紹介】
まど・みちおは、「うさぎ」では「うさぎにうまれて うれしいうさぎ」と書き、「くまさん」では「そうだ ぼくは くまだった よかったな」と書いています。

二つの詩に共通するのは、自分として存在することに喜びがあるという考えが表されていることです。そこから、自分が自分であることを大切にして生きようという、まど・みちおのメッセージが伝わります。

まど・みちおの詩を読んで、まど・みちおのメッセージを感じてみませんか。

まどみちお「うさぎ」による。

まどみちお「くまさん」による。

【お知らせ】

今年の読書ニュースは、毎月、一人の詩人を取り上げて、詩人の思いや人柄ひとがらを紹介していきます。

【見つけた詩】

まどみちお「ぼくがここに」による。

【詩についての話し合いの一部】

高木 「【読書ニュース まど・みちお】では、『うさぎ』と『くまさん』の二つの詩の共通点からまど・みちおの考えとメッセージをまとめているね。僕たちが見つけた『ぼくが ここに』からもそのメッセージが読めるね。」

田中 「うん。『ぼくが ここに』は四連の詩だけど、その全ての連に同じ『A』という語が出てくるよね。存在することに喜びがあるというまど・みちおの考えがこの詩にも表れているんだね。」

高木 「そうだね。しかも、『うさぎ』と『くまさん』では、特定の動物を取り上げているけれど、『ぼくが ここに』では特定の動物だけでなく全てのものについても書かれているよ。まど・みちおの（B）というメッセージが伝わってくるよね。」

田中 「詩人の思いをより深く理解するためには、同じ詩人の詩をいろいろ集めて読んでみるといいね。僕たちが金子みすゞの読書ニュースを書く時にも、複数の詩を紹介することができるように、来週までに詩を探してこよう。」

（注）連Ⅱ詩の中で、行を空けて分けているまとまりのこと。

1

【詩についての話し合いの一部】を読んで、(1)・(2)の問いに答えなさい。

(1) 文章中の（A）に入る最も適切な言葉を、【見付けた詩】の中から二字でぬき出して書きなさい。

(2) 文章中の（B）に入る最も適切な言葉を、【読書ニュース まど・みちお】の中から二十字でぬき出して書きなさい。

2 次は高木さんと田中さんが見付けた金子みすゞの詩【詩A】【詩B】【土】と【読書ニュース 金子みすゞ の下書き】です。あとの問いに答えなさい。

【詩A】

金子みすゞ 「星とたんぼぼ」による。

【土】

金子みすゞ 「土」による。

【詩B】

金子みすゞ 「つもった雪」による。

読書ニュース

(ず)

金子みすゞ

図書委員会

金子みすゞ

平成 28 年 6 月 〇 日 (図書通信)

金子みすゞ「土」による。

選んだ詩 (I)

〔詩人の紹介〕
金子みすゞ(本名)は、山口県出身の詩人です。二十六歳の若さでこの世を去りましたが、多くの詩を残しました。

〔詩の紹介〕

(II)

金子みすゞの詩を読んで、金子みすゞの優しさに出会ってみませんか。

高木さんと田中さんは、【読書ニュース まど・みちお】の記事を参考にして、【詩A】【詩B】のどちらかの詩を選んで【土】と組み合わせ、金子みすゞの優しさについて紹介しようと考えました。あなたならどちらの詩を選んで紹介しますか。【読書ニュース 金子みすゞ の下書き】の(I)に取り上げる詩を【詩A】、【詩B】のどちらかから選び、(II)に入る紹介文を、【読書ニュース まど・みちお】の記事を参考にしながら、次の条件1～3にしたがって書きなさい。

条件1 「土」と選んだ詩の本文中から、必要な言葉を引用すること。

条件2 「土」と選んだ詩に共通する点を取り上げて、紹介文を書くこと。

条件3 一二〇字以上二〇〇字以内で書くこと。

これで問題は終わりです。